



## 【社会】

### ＜勉強すること＞

◆「札幌市の土地のようす」について、教科書（20～21 ページ）や地図帳、しりょうなどを参考に、ノートや取組シートにまとめましょう。

(1) しりょう「札幌市の土地のようす」をあらわした地図では、大きく緑色  と茶色  の2色に分かれています。それぞれの色は、どのような土地をあらわしていますか。

(2) しりょう「札幌市の土地のようす」を見て、あなたが住んでいる区は、どのような土地の様子といえますか。

※「私の住んでいる～区は、～な土地が多いです。」などのように書いてみましょう。

(3) しりょうや学校で使っているふくどく本などを見て、「札幌市の土地のようす」についてしらべて、気づいたことを2つ以上書こう。

※札幌市の（北/南/西/東）の方は、～な土地がつづいています。  
～区や～区には、～が多い。などのように書いてみましょう。

◆「地図のやくそく(2)」(地図帳12 ページ)を見て、取組シートやノートにまとめよう。

(1) つぎの場所の地図記号を調べて、書いてみよう。

①神社 ②寺院(寺) ③市役所 ④図書館 ⑤温泉

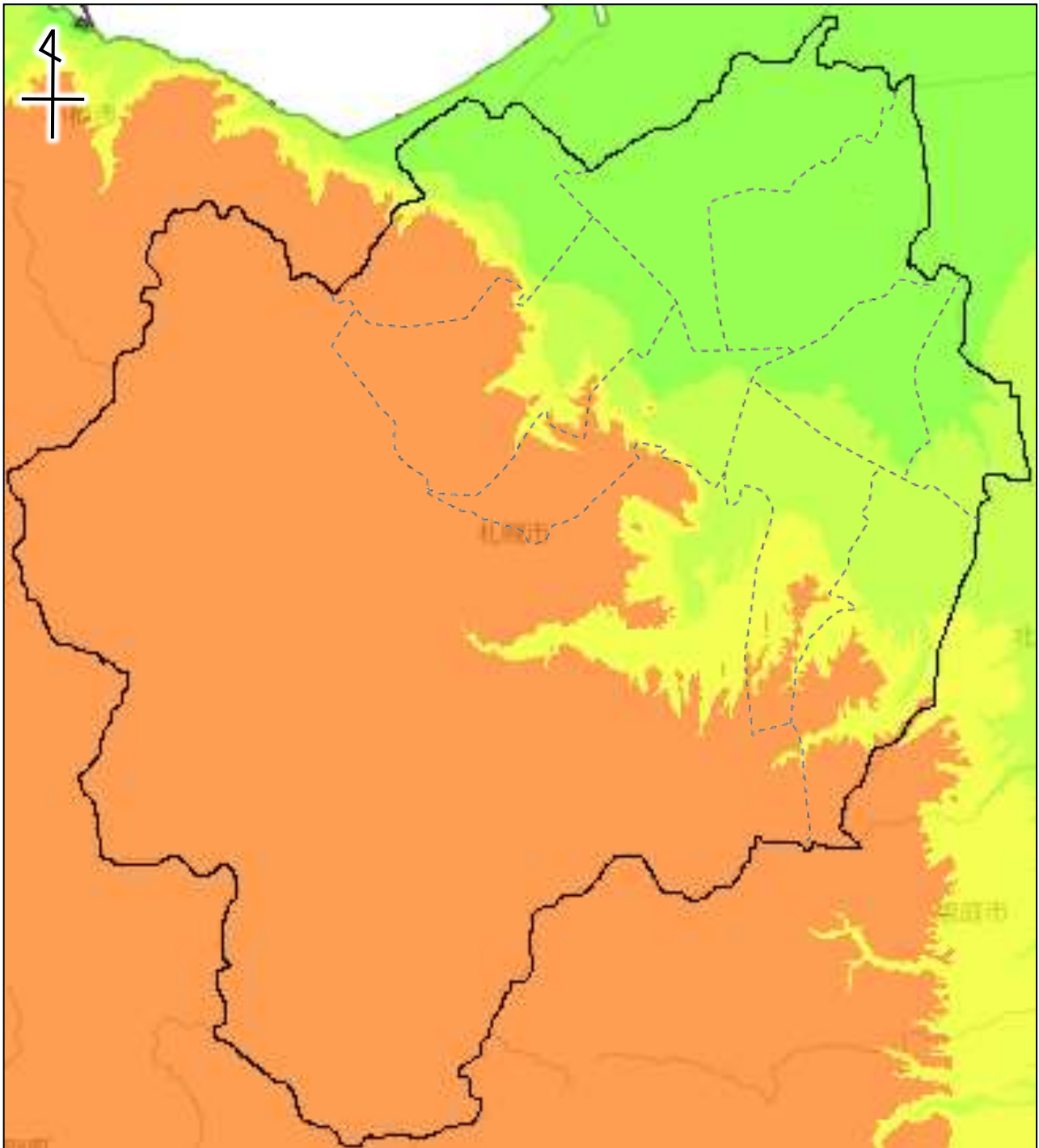
※何も見ないで書けるようになったらすごいですね。

### ＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・小学校3年生の社会科では、自分たちの住む札幌市のことについて学習します。教科書や地図帳に加え、学校で使っている副読本などがあれば、活用して学習を進めるようにしてください。
- ・低い土地はどのように利用されているかなど聞くことで、札幌の土地の様子と土地利用を関連付けて考えることができるようになります。
- ・可能であれば、親子で地図記号をクイズにして答え合うと、子どもは楽しみながら地図記号を覚えることができます。

※地図帳P11、P106のQRコードも、可能であればぜひ御活用ください。

**【社会】しりょう「札幌市の土地のようす」**



<土地の高さ>

